



学習だより

第15号

令和7年10月27日発行

宇都宮市立陽北中学校
学習指導部

「学習だより」は、本校のホームページからご覧になれます。
携帯電話・スマートフォンから、QRコードを読み取ってご覧ください。



2学期は“実りの季節”～学びの芽を育てるとき～

秋休みが終わり、学校生活が再び始まりました。休みの間に少し気持ちを切り替えたり、ゆっくり過ごしたりしたことで、また新たな気持ちで教室に戻ってきた人も多いのではないのでしょうか。短い休みではありましたが、ほんの少し離れることで、学校のリズムや友人とのやりとりが新鮮に感じられることもありますね。2学期は、1学期に積み重ねてきた学びや経験が、少しずつ形になっていく大切な時期です。

春から初夏にかけて、皆さんは授業や行事、友人との関わりの中で、たくさんの「学びの種」をまいてきました。わからなかったことに挑戦したり、友だちの考えに耳を傾けたり、自分なりの工夫を試してみたり… そうした一つひとつの行動が、皆さんの中にしっかりと根を張り始めています。

秋は自然界でも実りの季節です。田んぼの稲が黄金色に染まり、木々の葉が赤や黄色に色づくように、皆さんの中にも「成長の色」が少しずつ見えてきています。2学期は、その芽を育て、さらに深く根を張らせる時間です。授業での理解を深めたり、友人との対話を通して考えを広げたり、時にはうまくいかないこともあるかもしれませんが、それもまた大切な学びの一部です。

すぐに成果が見えるわけではありませんが、焦らず、こつこつと取り組むことが、やがて大きな力になります。先生たちは、皆さん一人ひとりのペースを大切にしながら、安心して学べる環境を整えています。わからないことがあれば、遠慮せずに相談してくださいね。

2学期は行事も多く、忙しく感じることもあるかもしれませんが、だからこそ、自分の成長に気づくチャンスでもあります。「できるようになったこと」「挑戦していること」「少し苦手なこと」… それぞれの経験が、皆さんの“実り”につながっていきます。

秋の風に揺れる稲穂のように、皆さんの学びも、しなやかに、力強く育っていくことを願っています。



◇保護者のみなさまへ◇

2学期は、子どもたちの学びが少しずつ形になっていく季節です。1学期に積み重ねた経験や努力が、授業や日々の関わりの中で芽を出し、育っていきます。すぐに成果が見えるわけではありませんが、日々の小さな変化や挑戦に目を向けていただけると、子どもたちの自信につながります。

行事も多く、心も体も忙しくなる時期ですが、子どもたちの“今”を見守りながら、共に育てていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

一番記憶に残る方法は、次のうちどれだと思う？

私たちが学ぶ方法には、いろいろな方法があります。学習方法と実際に学んだことがどれだけ記憶に残っているかを調べた研究があります（※1）。例えば、次にあげた学習方法の中で、どれが一番学んだことが記憶に残る方法でしょうか。ちょっと考えてみましょう。

- ① 学習内容を耳で聞いたとき
- ② 学習内容を目で見たとき
- ③ 学習内容を耳で聞いて、目でも見たとき
- ④ 学習内容について話し合いをもったとき
- ⑤ 学習内容を体験したとき

みなさんはもう察しがついたかもしれませんが、後にあげたものほど記憶に残りやすいのです。もっと詳しく説明してみましょう。みなさんにあまりなじみのないスポーツである「カーリングのルール」を学習すると仮定してみましょう。

①の「聞いたとき」というのは、カーリングのルールについて、先生がしゃべるのを聞いているだけなのです。これでは10%しか記憶に残らないというのです。

②の「見たとき」は、カーリングのルールについて説明した映像を見るだけです。これも15%しか記憶に残りません。

③の「見て聞いたとき」は、映像を見ながら先生が説明もしてくれるのです。これは20%になります。

④の「話し合ったとき」は、グループで話し合いながらカーリングのルールについて学ぶ方法です。これはちょっと上がって40%になります。

⑤の「体験したとき」とは、カーリングという競技を実際にやってみるのです。そうするとルールが記憶に残っている量は、ドンと跳ね上がって80%になるそうです。まあ考えてみると、実際にゲームをすればルールを覚えるということに異議のある人はいないでしょう。

ところが、⑤の自分で実際に体験してみることよりも、もっと記憶に残る方法があるのだそうです。それは何だと思いませんか？

それは「**人に教えること**」なのです。この方法だとなんと90%も記憶にとどまるといいます。もしみなさんがカーリングのルールを、今度は後輩に教える役目を果たすと考えたらどうでしょう。後輩に教え終わった後は、ほとんどルールを覚えているはずですよ。

私たちの中学校では、これから先「学び合い」で学習する時間がどんどん増えます。

授業中に友達が分からないところを自分が教えてあげる、という機会が多くなるでしょう。

教えてあげるのは、友達のためにやっていることではあります。しかし、それはまた自分のためにもなるのです。

